

令和2年度 大垣市立西中学校 学校経営計画

I 学校の教育目標

「見つけ 考え 創りだす」
校訓 ～ 自立 責任 敬愛 ～

《目指す生徒像》

- 学び方、考え方を身に付け、自分の意思で学ぶ生徒
- お互いを認め合い、声をかけ合い、仲間と高め合うことができる生徒
- 善悪の判断ができ、自分たちの力で学校生活を創ろうとする生徒

《目指す教師像》

- 一人一人の生徒の悩みや心の痛みが分かり、温かい手を差し伸べ救い取っていく教師
- 分かる・できる授業の研究実践に絶えず、努める教師
- 互いにしっかりと、連携し、目標に向かって組織的に動く教師

II 経営理念

<やるべきことが、気持ちよくできる生徒の育成>

- どの子も明るい挨拶…誰もが挨拶を大切にし、人権感覚がみなぎる風土を育てる。
- どの子も充実感がもてる授業…学び合っている充実感がもてる授業から確かな学力を育てる。
- どの子も掃除に取り組む学校…掃除は単なる作業ではなく、心を磨く活動にこだわる。
- どの子も黙々とボランティアを積みあげる学校…相手を思う心、感謝の心を育てる。
- どの子も自分の良さがもてる…自己肯定感を高めるための実践を積み上げ、自信を育てる。

III 中期経営目標及び短期経営目標

太枠・・・今年度の重点

重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・目標値
確かな学力の育成	学びを深め充実感が味わえる授業づくり	○学びが深まる授業を目指し、徹底した授業改善と目的を明確にした交流活動の確立に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、必ず課題設定をする際、資料提示等から生徒自らが「問い」を生み出せるような授業導入を工夫する。 ・教科の特性を生かした話し方の指導をする。 ・授業の交流活動では、必ず生徒の見方・考え方が深まるよう「視点」を提示し、話題の焦点化を図る。 ・授業の振り返りでは、必ず学習課題とつなげて振り返る終末のまとめ方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて、自分で考え取り組んだと回答する生徒を90%以上にする。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表したと回答する生徒を80%以上にする。 ・話し合う活動で、考えを深めたり、広げたりできていると回答する生徒を85%以上にする。 ・授業の内容が分かった・できたと回答する生徒を85%以上にする。
		○基礎学力の向上に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート・プリント・発言等から個々の実態を把握し、個に応じた補助資料等を提示する。 ・I プリントを活用しながら、計画的に定期テストを実施し定着を図る。 ・家庭学習は、個人の苦手教科を克服するための学習内容とし、自主学習ノートの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容が分かった・できたと回答する生徒を85%以上にする。 ・單元ごとに計画的に定期テストを実施し、定着を見届ける。 ・家庭学習で復習を中心に2時間以上する生徒を85%以上にする。

重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・目標値
豊かな人間性	豊かな心と望ましい人間関係の醸成	<p>○ マナーや規範意識を身に付けさせるとともに、生徒理解に努め信頼関係を深めることに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級で「絆」と「居場所」がもてる学級指導する。(教科担任を含む) ・朝、帰りの会を充実し、生活のめあてと仲間のよさの認め合いを行う。 ・登下校時、授業、部活動において、全員が主体的な挨拶ができるように指導を徹底する。 ・教育相談を月1回実施、チャンス相談を積極的に言い、生徒と話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで協力してやり遂げ、学級での生活が楽しいと回答する生徒を95%以上にする。 ・自分にはよいところがあると回答する生徒を75%以上にする。 ・よく挨拶をしていると回答する生徒・保護者、地域関係者を90%以上にする。 ・先生は悩みや話を聞いてくれると回答する生徒を90%以上にする。
		<p>○学級活動、生徒会活動の充実と行事へ活気をもたせることに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に、学校生活を高めていく活動を仕組む。 時間 身だしなみ 掃除 ・行事の内容を充実し、生徒の達成感や充実感につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の規則を自ら守る生徒を95%以上にする。 ・生徒が進んで掃除に取り組み、校内美化に努めていると回答する生徒を95%以上にする。 ・みんなで協力してやり遂げ、学級での生活が楽しいと回答する生徒を95%以上にする。
		<p>○ボランティア活動を推進し、学校と地域の連携に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの学校支援と学校からの地域支援の双方向のボランティア活動を展開する。(地域協議会への生徒の参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動や地域の行事に進んで参加している生徒を95%以上にする。
学校運営・危機管理	機能的な組織運営と危機管理体制の確立	<p>○共通理解と共通実践による危機管理意識の高い機能的な組織運営に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート(学期に2回)等を有効に活用し、安心した生活ができるようにする。 ・全教職員がより高い危機管理意識をもち、アレルギー対応等の訓練を実施し改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを含めた取組は、安心安全な生活につながったと回答する生徒を90%以上にする。 ・アレルギー対応研修・AED研修、命を守る訓練等、年5回研修を位置付ける。
		<p>○教職員が笑顔で元気よく生徒に関われるよう、働き方改革と検証に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトムアップによる業務の精選を継続する。 ・仕事の計画を綿密に立てたり優先順位を付けたりする。 ・部活動とクラブの位置付けをより明確化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均時間外勤務を月70時間以内にする。 ・月水(部活動なし)は、19時まで全員が退校する。 ・教師は、土日のどちらかは、完全休養日とする。